以下に、一般的な命名の例とアドバイスをお伝えします。

**1. コントローラ名**

通常、コントローラは対象となるエンティティに関連した名前を付けます。Controllerで終わるのが標準的です。

**例**

* BankController（銀行に関連する処理を集約）

**2. メソッド名（GET, POSTマッピングするメソッド）**

RESTfulなアプローチを採用し、メソッド名はアクションに基づいてシンプルかつ具体的に命名します。

**例**

* listBanks (GET) - 銀行一覧を表示
* getBankDetails (GET) - 銀行詳細を表示
* createBank (GET, POST) - 銀行登録画面表示 (GET)と新規登録 (POST)
* editBank (GET, POST) - 銀行編集画面表示 (GET)と編集更新 (POST)
* deleteBank (POST) - 銀行削除

メソッド名の基本は、動詞＋エンティティ名です。POSTメソッドはCRUD操作（登録、編集、削除）のような状態変更に用いられます。

**3. テンプレート（HTML）ファイル名**

テンプレートファイル名は、各画面での役割がすぐにわかるようにします。

**例**

* bankList.html - 銀行一覧表示
* bankDetail.html - 銀行詳細表示
* bankForm.html - 登録/編集フォーム
* bankDelete.html（またはconfirmation.html） - 削除確認画面（ある場合）

**サンプル構成**

以下のような形でファイル構成すると、わかりやすく、メンテナンスしやすい構成になります。

src/

└── main/

└── java/

└── com/example/bankmanagement/

└── controller/

└── BankController.java

└── resources/

└── templates/

├── bankList.html

├── bankDetail.html

├── bankForm.html

└── bankDelete.html

これにより、各画面やアクションが明確に分類され、わかりやすくなります。

「メソッド名」という呼び方も一般的に使われていますが、特にコントローラ内でHTTPリクエストと結びついたメソッドを指す場合、「アクションメソッド」や「ハンドラメソッド」という呼び方もよく使われます。

* **メソッド名**：メソッドの名前そのものを指すときに使用。
* **アクションメソッド**：HTTPリクエストを処理する特定の動作（アクション）を定義したメソッドを指すときに使用。
* **ハンドラメソッド**：リクエストを処理するメソッド全般を指す際に使用。

一般的に、Spring BootやMVCフレームワークの文脈では、「アクションメソッド」も「ハンドラメソッド」も適切な呼称です。日本語でも「アクションメソッド」は理解されやすいので、こちらを使っても良いと思います。